

情報公開文書

研究課題名	Development and Validation of a Prediction Model for Oral Anticoagulants in Stroke (脳卒中患者における内服抗凝固薬の予測モデルの開発と検証)
研究期間	実施許可日 ～ 西暦2025年 3月 31日 (症例対象期間：西暦1999年1月1日 ～ 西暦2023年12月31日)
研究の目的と意義	<p>抗凝固薬を服用している高齢患者が増加しており、そのような患者さんは出血性脳卒中の血腫増大などによる状態の悪化を引き起こす経験する可能性があります。したがって、このような患者集団を管理するためには、早期発見と抗凝固薬の中和を含む迅速な初期対応が不可欠です。出血性脳卒中患者では、意識障害を合併していることが多く、内服抗凝固薬の情報へのアクセスを妨げ、出血のさらなる増悪を防ぐための対策を遅らせる可能性があります。意識障害のために患者が服薬情報を確認できない状況では、服薬情報を入手する唯一の手段として、家族との面談、かかりつけ医の記録の確認、処方箋の記録などが考えられますが、これらの方法は、入手が困難な場合や、時間的な制約により支障をきたすことがあります。</p> <p>このような課題に対処するため、脳卒中における抗凝固療法の存在を検出する予測モデルを構築します。この予測モデルにより、現在複数の種類がある抗凝固薬の存在を検出し、より迅速な中和に結びつけられる可能性があります。抗凝固薬の予測モデルを構築し、迅速な覚知と中和のための初期診療体制の構築を目指す研究を行います。</p>
研究方法	<p>当施設も参加している日本脳卒中データバンク事業に登録されたデータを利用します。1999年1月1日から2023年12月31日までの期間に、脳卒中の診断で入院加療となった患者様が対象です。対象となる患者様の入院年・年齢・性別・発症前生活自立度・既往症・来院時神経学的所見・来院時意識状態・血液検査所見・脳卒中病型の情報を利用いたします。研究の方法などに疑問点などがある場合には、下記連絡先までご連絡ください。研究の独創性、個人情報、知的財産の保護に支障のない範囲において資料の公表をいたします。</p>
個人情報の保護、研究参加の拒否について	<p>利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。</p> <p>また、本研究への参加拒否を希望される患者さんについては、担当医師にお申し出ください。</p>
結果の公表	<p>研究で得られた結果は、学会、医学専門誌への発表を予定していますが、その際にも、患者さんの名前など対象者を特定できる情報は含まれません。(公表する結果は統計的な処理を行ったものだけです)。</p>
問合せ先	<p>京都第二赤十字病院 脳神経外科 藤原岳 〒602-8026 京都市上京区釜座通丸太町上ル春帯町 355-5 TEL：075-231-5171 (代) FAX：075-256-3451 (代)</p>